

**DAFS 経営研究委員会主催**

**<中国経済および中国 EV・自動運転技術最新動向セミナー開催要領>**

1. 開催日時： 2018年11月22日(木) 13:30～17:00 (受付開始 13:00)
2. 会場： 投資育成ビル 8F 大会議室  
(渋谷区渋谷 3-29-22) (03-5469-5870)  
(JR 渋谷駅 新南出口より右手方向に徒歩 2分)
3. 主催： 一般社団法人 日本半導体商社協会(DAFS) 経営研究委員会
4. 演題・講師/略歴・講演要旨：

・第1部 (13:40～15:20) (100分)

演題： 「中国経済の光と影～急速な発展をもたらすチャンスとリスク」

講師： 日本経済新聞社編集局企業報道部シニア・エディター  
山田 周平 氏

講演要旨： 改革・開放政策の導入から 40 年を経て、世界 2 位の経済大国の座を固めた中国。2018 年も年率 6 % 台半ばの高成長が続く見通しで、世界経済のけん引役としての期待は大きい。ただ、最近は日中関係の改善やスタートアップ企業の台頭といったプラス要素がある一方、米国との貿易戦争や国内の環境問題などマイナス要素も多く、中国経済は光と影が混在しているのが実情だ。2 期目に入った習近平指導部による中国経済のかじ取りが日本の産業界にもたらすチャンスとリスクを展望する。

講師略歴： 日本経済新聞社編集局企業報道部シニア・エディター。1968 年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒、北京大学外資企業 EMB A 班修了。台北支局長、産業部キャップ、アジア部次長、中国総局長などを経て、2017 年 4 月から現職。全国通訳案内士(中国語)の資格を持つ。共著に『習近平の支配』(日本経済新聞社)、『中国バブル崩壊』(同)など。



(休憩 : 20分)

・第2部 (15:40～16:50) (70分)

演題： 『中国における EV・自動運転技術開発の最新動向』

講師： 日経 BP 社 日経 Automotive/日経 xTECH (クロステック) 編集  
記者 久米 秀尚 (ひでよし) 氏

講演要旨： 3000 万台の大台が迫ってきた中国の自動車市場。かつては“安かろう、悪かろう”というイメージが強く、先進国で使い古した技術を導入することが多かった。だが、技術の流れは大きく変わり、最新技術を中国で真っ先に投入する事例も増えてきた。

特に顕著な成長を見せるのが電気自動車（EV）や自動運転といった次世代自動車の領域である。中国政府も国策として積極的な施策を打つ。日本や欧州の自動車メーカーですら、最新技術を投入していかないと勝負できなくなってきた。

本講演では、世界の主要メーカーのEV、自動運転の開発状況について概観しつつ、中国メーカーの開発動向や政府の施策（思惑）などを解説していく。

講師略歴：

2007年 名古屋大学工学部卒業、

2009年 東京大学大学院工学系研究科修了

2009年 日経BP社入社。「日経エレクトロニクス」を担当し、民生機器、電動車両、電池など自動車分野を取材。2015年1月から「日経Automotive」を担当。

電動車両や自動運転車など次世代自動車のテーマを中心に取材を進めている。

5. 受講対象者：

DAFS 会員及び会員以外でもエレクトロニクス分野の業務に従事されている方、または同分野に関心をお持ちの方であればどなたでも受講いただけます。

6. 参加費(消費税込み)： DAFS 会員：10,000 円／1 人（当日現金支払い、領収書発行）  
会員以外：15,000 円／1 人（当日現金支払い、領収書発行）

7. 受講申し込み：添付の申込書に記入の上、DAFS 事務局（[dafs@dafs.or.jp](mailto:dafs@dafs.or.jp)）宛てお申し込みください。10月30日（火）または定員(65名)になり次第締め切りますのでお早めにお申し込みください。

以上